

生活塾「春日」 支援プログラム

特定非営利活動法人ビリーブ
放課後等デイサービス

作成日 令和6年10月1日

法人理念

- 当法人は、地域社会で暮らす介護や介助を必要とする高齢者及び障害者児等に対して、介護、福祉サービス、地域生活支援に関する事業を行い、**社会全体の利益に寄与する事を目的とします。**



支援方針

- 😊 自分で選ぶ 自分で決める
- 😊 主体的に動ける活動設定
- 😊 子ども自身が考える機会
- 😊 子どもの“見る”力を育成
- 😊 子どもの状態に合わせたメリハリのある活動
- 😊 ボディイメージの獲得
- 😊 毎日がワクワク！
- 😊 子ども自身が実感を伴う活動内容
- 😊 その時どうしたかったのか？ 内面を問うフィードバック
- 😊 無理をしない！
- 😊 将来を想像しながら！



提供方針

①活動の主体としての自己イメージの獲得、そして他者への気付きを理解へ

- 😊 子どもが動く主体的な活動を設定し、自己選択・自己決定の機会と場がある。
- 😊 「できたこと」「わかったこと」の自己確認を尊重する。
- 😊 事業所の環境が、子どもの活動を促すように整えられている。
- 😊 活動を予測したり、期待を持たせるために、活動の前に活動の手がかりとなる音や動きを取り入れている。（予告刺激の設定）
- 😊 活動内容のテンポやリズム、間とゆとりを子どもの活動に即して設定し、「次は何だろう？」と考える（思考）時間を提供している。
- 😊 活動の場面構成は、受け身で単調な活動に終わらないようにする。子どもの集中力などを考慮し、リセットできるような活動設定とする。
- 😊 具体的で明確なアセスメントに基づき、その時点で成長ニーズに最も的確に応える目標・評価の設定をしている。

提供方針

②できる自分（自分の価値）への気付き・発見があること

😊 子ども自身が活動の中で「何を経験しているのか」「何を学んだか」がわかる目標設定と活動展開がある。

😊 活動の結果「できた」「できなかった」が、子ども自身でわかる教材づくりをしている。

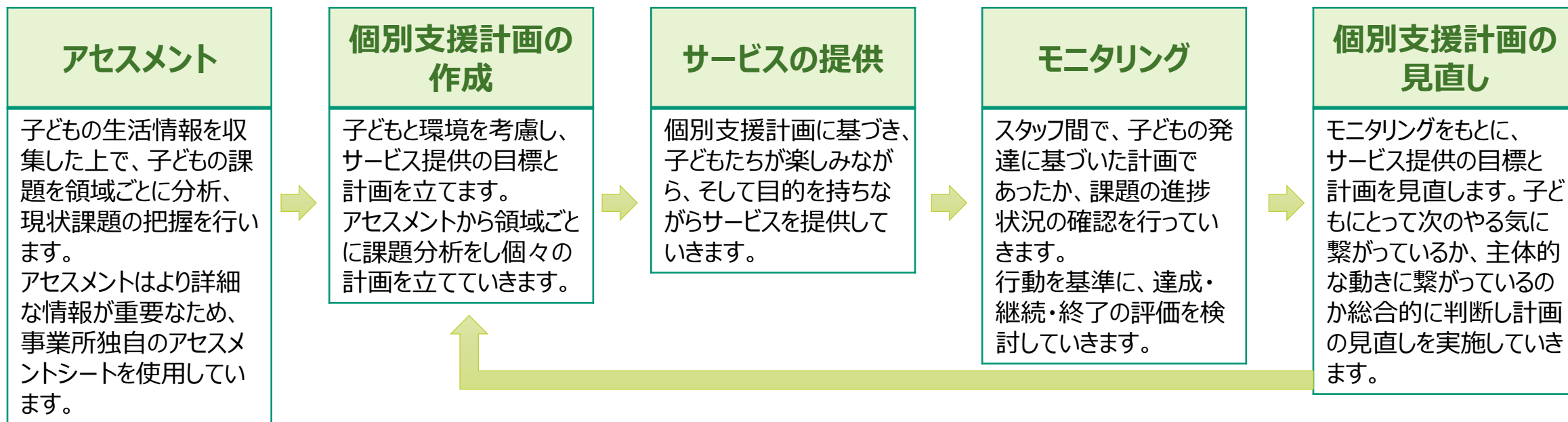
😊 働きかけた時、子どもの心は動く。子どもの内面を豊かな活動世界として想像し、仮説立て行い、その活動を意味づけ、子どもにフィードバックしている。

😊 自分が活動すると、環境や自分自身に好ましい変化を生み出す“見通し”や“自信”を子ども自身が持ち、自己肯定感・有能感がもてる応答的環境（教材・人）を設定している。

😊 子どもが働きかけたときに、言葉の意味を受け止め、受容し、応えるようにしている。

😊 「子どもを起こす」のではなく、「子どもが起きる」状況づくりを行っている。

支援プロセス



営業に関して

【営業日】 月曜日から金曜日

【休業日】 土曜日・日曜日

5月3日～5日 8月13日～15日 12月29日～1月3日

【営業時間】 授業終了後 PM2：00 ～ PM6：00（延長支援可）

学校休校日 AM10：00～ PM4：30（延長支援可）

【送迎】 豊橋市内全域 送迎実施（医療的ケア児含む）

支援内容

支援内容

本人支援 (5領域)	健康・生活	<ul style="list-style-type: none">・事業所に通うことで生活リズムの安定を図ります。・家庭での健康面（睡眠、食事、排泄、医療的ケアの状況）について情報共有を行っていきます。・摂食嚥下の状況や、口腔内のケア実施について歯科医師と情報共有していきます。・医療的ケアに関して、主治医の指示書に基づき実施していきます
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none">・リズムに合わせ主体的な動きに繋げていく活動や、ふれあい体操に合わせ自分のカラダをイメージしていく活動を実施していきます。・粗大運動をベースに、バランスを養う感覚をもち姿勢保持に向けた取組みを実施していきます。・微細運動に関する素材の提供を、子どもの発達に合わせて提供していきます。・様々な素材を用いて、五感に訴える感覚を養っていきます。・リハビリの情報をもとに、ROM運動の提供や、静的弛緩誘導法を実施していきます。
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none">・何をすることが分かり、主体的に行動できるための情報（聴覚・視覚・嗅覚・触覚等）を子ども一人ひとりに合わせた手段で提示していきます。・活動の中に、季節感を感じることのできる要素を取り入れていきます。・型はめやブロック、絵本、マッチング素材などを活用し、色や属性、数字や文字、概念などについての興味を高めたり認知力を高める活動を実施していきます。
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">・自ら注目する動きや、人の言葉に耳を傾けるなど、コミュニケーションの土台となる意識を育みます。・一人ひとりにあったコミュニケーション手段を利用し、子ども自身が発信しやすい環境を整えていきます。またICTの導入により、より自ら発信できる機器の導入に関しても積極的に行い、誰にでもわかるコミュニケーションの構築を図ります。
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none">・子ども自身が「できた」を実感し、自己肯定感を高めるアプローチを実施していきます。・子ども同士との遊びを通じ、お互いを意識しあえる（他者）環境作りを大切にします。・片付けや調理、掃除など生活に密着した体験を多く取り入れ、社会性を養います。また順番を待つ事や、遊びの中でのルールを学ぶことで、より将来に向けた準備を行っていきます。

支援内容

支援内容

家族支援	①【見立て】子どもの発達 特性に関する状況・成果 相談・助言等 ②【計画】目標設定に関する目的・相談・助言等 ③【手立て】プログラムの内容 目的・成果 相談・助言等 ④【実行】補助・手法に関する相談・助言等 ※見学の機会提供や、上記に係る個々の子どもに関する事項、支援内容と目的に関する説明、相談助言などを実施。
	①子どもの発達に関する相談・助言等 ②支援内容に関する相談・助言等 ③家庭生活に関する相談・助言等 ④集団生活に関する相談・助言等 ⑤きょうだい児に関する相談・助言等 ⑥制度に関する相談・助言等 ※家族のニーズに応じ、上記項目の相談援助を実施。
移行支援	①学校および関係機関等への情報共有・情報提供。 ②移行支援会議および担当者会議への参加
地域支援 地域連携	①地域ボランティアの協力（地域住民） ②学生ボランティアの受入れ（市内中学・高校等） ③地域行事への参加
職員の質の向上	①虐待防止（身体拘束）に関する研修②感染症に関する研修および訓練③安全管理に関する研修④業務継続に関する研修等
主な行事	・季節に合わせた行事・保護者会・茶話会・防災訓練（毎月）・誕生会など